

岡村中学校だより

令和6年3月8日発行

「栄光の架橋を渡ろう」

校長 高橋 浩二

2月の初めに関東地方にも雪が降りました。またその後は初夏を思わせる陽気となり気温に寒暖差があり体調管理の難しい頃となりました。校内の梅の木は、例年よりさらに開花が早くなったようで、満開のものや七分咲き・五分咲き、つぼみのもの、白梅に紅梅など大変個性豊かです。河津桜も加わり色鮮やかな風景となっています。梅の木は磯子区の木であり、学校内のいたるところに梅の木が植樹されています。これからも大切に見守っていきたいと考えます。まだまだ三寒四温といわれる時季です。日々の体調管理に気を付け3月を乗り切りましょう。

7月から始まったエレベータ設置工事も予定では3月末に完成します。3年生を中心に不便をかけたがようやく完成します。また、2月には体育館に空調設備が設置されました。工事期間中、体育館部活は滝頭小・磯子小・岡村小・たきがしら会館の体育館をお借りして部活動を継続して行うことができました。ありがとうございました。

さて、2月25日は、本校の「開校記念日」です。昭和24（1949）年4月5日、生徒数496名で開校式が行われ「横浜市立岡村中学校」の歴史が始



まりました。翌25年3月、第1回卒業証書授与式が行われ112名が卒業しました。新校舎と校庭の整備がほぼ完成し落成式が行われた2月25日が開校記念日となりました。上にある図案は岡村中学校の校章です。「校章の由来は、岡村中学校存続を祝い新生の意を含めて昭和29年4月1日改められました。図案は岡村の地にちなみ学問の神として郷土の信仰が厚い、天満宮の白梅を白銀でかたどり、なかに「中」を入れたものでありました。」（創立70周年記念誌より）また、岡村中学校校歌の三番は「白梅ひらく 丘は清く」で始まります。校歌の由来は、「昭和33年、作詞を東京芸術大学の勝承夫先生に、作曲は同じ東京芸術大学の下総皖一先生に依頼しました。歌詞の中に「自立」「平和」「世界の明日を築く」という文言が当時海に面していて景勝の地であった情景とともに織り込まれています。この文言は創立当初からの学校の願いを歌いこんだものです。」（創立70周年記念誌より）岡村中学校は、今年創立75年目を迎えました。岡村中学校の長い歴史と良き伝統をこれからも引き継ぎ、新たな歴史と伝統をさらに築いてほしいと願っています。

さて、いよいよ3月12日火曜日は、「第75回卒業証書授与式」です。今年は四年ぶりに来賓の皆さまにご列席をお願いしました。在校生や多くの保護者の皆さまの参列の中行われます。3年生一人ひとりが卒業証書を受けとり、堂々と自信をもって中央階段を降りて巣立ってほしいと願っています。会場準備は感謝の思いを込めて2年生を中心に行います。

1, 2年生はこの一年間の3年生の立派な姿を見て「岡村中らしさ」とは何かを学んでくれたと思います。

卒業おめでとうございます！（教職員一同より）